

平成23年度九州大学大学院法学府
修士課程入学試験問題（秋季）

法理学

問1 次の二つの文章にみられる見解について論じなさい。

A. 「社会の中で異論のある問題について自己の見解を正当化するためには、道徳的・宗教的な見解は異なっても自由かつ平等であるすべての人が納得すると期待することのできるような論拠や推論の方法によらなければならない。」

B. 「人工妊娠中絶のような問題については、女性の権利を主張する立場もそれに反対する立場も、胎児は人であるかどうかといった問題についての何らかの道徳的・宗教的な論議を避けることはできない。」

問2 「真理ではなく、権威が法を作る」という言葉に示されるホッブズの法思想について論じなさい。